

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	昼光照明規準刊行小委員会	主 査 名：古賀靖子 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：羽山広文 主 査 名：村上公哉
設 置 期 間	2016 年 4 月 ~ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・光環境運営委員会・昼光規準 WG で執筆を進めた昼光照明規準原案 (WD) を元に、日本建築学会環境基準：昼光照明規準を作成・出版する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：	
	幹事：望月悦子 (千葉工業大学) 委員：伊藤大輔 (ものづくり大学)、岩田利枝 (東海大学)、上谷芳昭 (京都大学)、菊池卓郎 (竹中工務店)、原直也 (関西大学)、吉澤望 (東京理科大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1 .
講習会	1 .
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1 . シンポジウム「昼光照明規準制定に向けて」 資料名：同上 参加者数 59 名
大会研究集会	1 .
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1 .
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1 . 活動計画通り、昼光照明規準のドラフト作成、シンポジウム開催、外部査読 を行った。 2 . 3 .
委員会活動の問題点 ・課題	1 . 2 . 3 .

2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>活動計画に従って、昼光照明規準のドラフトを作成してシンポジウム開催した。また、昼光照明規準のドラフトを外部査読にかけ、査読意見に対応してドラフトを修正した。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。